



主な内容

- 令和5年6月定例会・第2回臨時議会 …………… P2~3
- 3議員が一般質問 …………… P4~7
- 行政調査 …………… P8
- 議会・議員の活動 …………… P9~10

6月定例会 [会期] 6月6日～9日まで

令和5年6月定例会では、農業委員会委員の任命や令和5年度一般会計補正予算など5件（報告2件を含む）が提出され、審議の結果、全議案が同意・可決となりました。

また、陳情書2件を受け付け、委員会での審査の結果を踏まえ、本定例会において2件全てが採択となりました。

一般質問では、3名の議員が介護対策や村の観光客増加策などについて問いました。

PickUP!!

議案第1号 天栄村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

農業委員9名の任命について同意



提案理由

本年7月19日をもって、農業委員の任期が満了となることから、新たに任命するもの。
9名の委員のうち、6名が新任、3名が再任となっており、任期は令和5年7月20日から3年間。

再 佐藤 光榮 (児 渡)	新 綱藤 清晴 (大里東部)	新 大河原友治 (高 林)
新 馬場 吉信 (上松本)	新 車田 京子 (太多郎)	新 石井 正美 (沖 内)
新 春日 富夫 (大里中部)	再 小針 重男 (飯 豊)	再 佐藤 正尉 (湯 本)

※行政区順

PickUP!!

議案第3号 令和5年度天栄村一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に5,373.5万円を追加



増額補正の主なもの	総 務 費	集会施設等整備事業補助金	560 万円
	民 生 費	電力・ガス・食料品等 価格高騰重点支援給付金	1,650 万円
	農林水産業費	山村開発センター修繕工事請負費	2,214.3万円
	商 工 費	やすらぎ橋展望台撤去工事請負費	130 万円
	教 育 費	送迎用バス安全装置 取付工事請負費	120 万円



幼稚園の送迎の様子

6月定例会その他審議結果一覧表

	番号	事 件	内 容	結果
報告	1	令和4年度天栄村一般会計繰越明許費繰越しの報告について	老人福祉創作センター修繕事業など8事業、2億3,738.3万円で令和5年度への繰越額が確定	-
	2	令和4年度天栄村農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越しの報告について	維持管理適正化計画策定事業、2,155万円で令和5年度への繰越額が確定	-
議案	1	天栄村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	P2上段を参照	同意
	2	福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の一部変更について	福島県市町村総合事務組合の構築団体である田村広域行政組合が令和5年3月末をもって脱退することによる所要の改正	原案可決
	3	令和5年度天栄村一般会計補正予算について	P2中段を参照	原案可決

議員発議案により2件の意見書を国に提出へ

総務常任委員会

地方財政の充実・強化を求める意見書
提出陳情書

採択

地方自治体には、社会保障制度整備や脱炭素化を目指した環境対策など極めて多岐にわたる役割が求められている状況にあることから、2024年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、物価高騰等を勘案した的確な見積もりを実施し、諸課題解決のため地方財源措置の充実・強化が図られるよう意見書を提出する。

国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める陳情書

採択

東日本震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するために、引き続き、令和6年度以降も全額国費で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と十分な就学支援に必要な予算確保を国に求めるため、意見書を提出する。

【意見書の送付先】

- 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣
- 総務大臣・厚生労働大臣・国土交通大臣・デジタル大臣
- 農林水産大臣・内閣府特命大臣(少子化・男女共同参画)

【意見書の送付先】

- 復興大臣・文部科学大臣・総務大臣・財務大臣

令和5年第2回臨時会の議案審議結果

期日：4月20日

令和5年4月20日に開会された第2回臨時会において、3議案が審議され、原案どおり承認・可決となりました。

可決

案件	番号	事 件	内 容
議案	1	専決処分の報告及び承認について	天栄村税条例の一部を改正する条例の制定について →地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴う所要の改正
	2	専決処分の報告及び承認について	天栄村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について →地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う村国民健康保険税条例の所要の改正
	3	令和5年度天栄村一般会計補正予算について	歳入歳出9,450万円追加 →物価高騰等により影響を受けている村民の生活支援と村内の経済活性化を図るため、一人当たり1万円の生活支援商品券配付など

Q

熊田議員

プレミアム商品券の発行事業について、詳細を伺いたい。

A

【産業課長】

プレミアム商品券発行事業については、昨年と同様に1セット1万2,000円分の商品券を1万円で販売し、プレミアム率20%を付与したものでございます。販売については、1,000セットずつを2回に分け、合計2,000セット販売してまいりたいと考えております。



令和4年に販売された
プレミアム商品券

村政を問う



令和5年6月定例会の一般質問は、6月6日(火)に行われました。
天栄村議会の一般質問は、答弁を除く議員の発言時間を40分とした一問一答式のスタイルをとっています。
質問内容は抜粋となりますので、興味のある方は、会議録をご覧ください。(天栄村ホームページ等で公開しています)

1 3番 大浦 トキ子 議員 P5

- 1 今年度の国保税について
- 2 学校給食費の無料化について

2 8番 熊田 喜八 議員 P6

- 1 防犯対策について
- 2 介護対策について

3 1番 北畠 正 議員 P7

- 1 村への観光客などの増加策について
- 2 農業用水の対策について

議会の豆知識

一般質問とは



「議会」は、住民の皆さんに代わって村の行財政の運営を監視する役割があります。

一般質問は、その議会を構成する「議員」に与えられた権利です。村の事務の執行状況や村の将来への考え方について報告や説明を村長に求めることができます。村民のための適切な村政運営が図られているか、質問を行うものです。





① 今年度の国保税に ついて

議員

消費税10%増税により、購買力は落ち、景気は悪くなっております。村は積立金を活用して国保税の引き下げをするべきと思いますが、次の点について伺いたい。

① 「令和4年度国民健康保険特別会計の繰越金」はいくらになるのか。

② 5月31日の「国保積立金」はいくらか。

③ 国保税を1世帯当たり1万円引き下げ、国保基金から充当した場合、基金残高はいくらか。

村長

1点目の「令和4年度国民健康保険特別会計の繰越金」については、まだ確定しておりませんが、約2千6百万円となる見込みです。

2点目の5月31日現在の国民健康保険基金の金額については、1億24万6千285円です。

3点目の「充当した場合の基金残高」につきましては、4月末



国保運営協議会の様子

日現在の国保加入世帯が、761世帯ですので、基金残高から761万円を減じた9千263万6千285円となります。

② 学校給食費の 無料化について

議員

急激な物価高騰で村民の生活は大変な状況です。学校給食費の無料化及び補助は県内59市町村中、44市町村となっています。次の点について伺いたい。

① 現在村は3分の1補助していますが、保護者の負担は月額いくらになるのか。

② 2分の1補助の場合、保護者の負担は月額いくらになるのか。

③ 全額無料にした場合、村の負担は小学校、中学校でいくらになるのか。

村長

3分の1の補助の場合、一人あたりの保護者の月額負担は、小学校で約2千800円、中学校で約3千200円です。

2分の1の補助の場合、一人あたりの保護者の負担は、小学校で約2千100円、中学校で約2千400円です。

全額補助した場合の村の負担は、小学校で約1千54万3千円、中学校で634万2千円です。



学校給食の様子



災では暗くて映っていませんでした。これでは、何の為に防犯カメラかわかりません。防犯カメラの点検はしているのか、また設置場所の資料と今後の対策対応をどのように考えているのか伺いたい。

村長

現在まで設置した28箇所、42台全てについて、夜間撮影に対応した赤外線暗視型を採用し、作動状況、電源設備および録画状況等の保守点検を実施しておりますが、撮影距離や撮影範囲に限りがあるため、離れた場所などは、撮影できなかつたり、映像が不鮮明になつてしまう場合があります。

最近、若者による強盗事件が多発しており、福島県でも4件起きています。3月の議会では村も防犯カメラを要所所には設置しておりますとの事でしたが、西小屋の火

1 防犯対策について

議員

備に努めてまいります。

村民一人ひとりの防犯意識の向上を図ることも重要であり、村民、事業者、警察署等との連携を密にし、犯罪被害の防止に向けた意識啓発や犯罪に関する情報の発信など、地域一体となって防犯対策と治安維持に努めてまいります。

2 介護対策について

議員

現在、老人ホームの村の待機者は何名いるのか。今後、後期高齢者は益々増加して介護施設に入りたくても入れない方が出てくると思われれます。村はどのような対策対応を考えているのか伺いたい。

村長

特別養護老人ホームの待機者は、現在5名で、入院中の方を除く在宅での待機者は、2名であります。

令和22年における本村の高齢者数は、人口減少に伴い1千500名程度まで減少すると推計されております。

村といたしましては、こうした状況や高齢者の方々のご意見・ご要望を踏まえながら、令和6年度から3年間を計画期間とする「第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定を進め、適切な介護サービスの提供や

介護予防事業、健康づくり事業の推進に努めながら、高齢者の方々が、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができる環境づくりに取り組んでまいります。



各地域で行われている自主サロン（児渡）



① 村への観光客などの増加策について

議員

コロナウイルスにより、村内への観光に訪れる方が減少し、旅館や観光施設等、苦しい経営状況が続いております。また、飲食業の売り上げも減っています。村でも商品券を配布するなど

対策はしていますが、まだまだ、コロナ以前の様にはなっていないです。

今後、村外からお客さんを呼びよすような取り組みが必要だと思いますが、どのような施策を考えているのか伺いたい。

村長

村では、本年度も村観光協会と連携し、一人当たり2,000円の宿泊料割引と1,000円分の買い物クーポンをセットにした「泊まってエールキャンペーン」、農業体験や自然探索などを体験できる体験活動型教育旅行、天栄村サポーター事業などを実施し、観光誘客の促進を図ってまいります。

また、先月27日にリニューアルオープンした「道の駅季の里天栄」には、県内外から多くのお客様にお越しただいており、「季の里天栄」を中心とした「ふるさ



リニューアルオープンした道の駅季の里天栄

と公園」が、村の魅力を広く発信する新たな観光拠点となるよう、その整備を早期に進めてまいります。

さらに、本年度は、JR東日本と連携した県の観光キャンペーンや首都圏等での観光PRイベントが開催されることから、県や近隣市町村、関係団体と連携して、広域的な観光誘客事業

を展開し、入込数の回復、増加につなげてまいります。

② 農業用水の対策について

議員

毎年、水稻の作付け時期になると、水田への用水確保に農家が苦労します。特にダムがない大里地区の農家からは、牧本・広戸地区について好ましがられています。村でも農業用水の確保については要望等聞いておられると思いますが、今後どのようにして改善していくのか伺いたい。

村長

大里地区の農業用水につきましては、竜田川、第二竜田川、ため池が水利となっており、牧本地区や広戸地区と比べ、確保できる水量が少ないものと認識してお

ります。

このようなことから、村では、行政区から要望のあったため池については、浚渫を実施することとし、村管理のため池は、緊急浚渫事業債を活用して村が実施し、村管理以外のため池は、行政区が事業主体となり、行政区協働の里づくり交付金を活用して浚渫を実施し、水量を確保しております。

また、土地改良区が管理する沈砂池につきましても、土地改良区に費用の一部を村が補助し、沈砂池の浚渫を実施しております。

今後につきましても、ため池等の浚渫により農業用水の確保に努めるとともに、竜田川および第二竜田川の河道掘削事業について、県へ要望してまいる考えであります。

総務常任委員会(小山克彦委員長)と産業建設常任委員会(渡部勉委員長)は、6月27日から29日にかけて北海道上川郡美瑛町・上川郡東川町での合同行政調査を行いました。

総務
常任委員会

廃校の利活用について



北瑛小麦の丘



レストラン「ビブレ」

総務常任委員会では、村内においても少子化が進み、今年3月に湯本中学校が廃校となり、今後、小学校統合等を見据え、廃校の利活用が課題となることから、美瑛町における活用の方法について調査をしてきました。

美瑛町では平成9年度に17校あった小中学校が7校にまで減少し、うち廃校となった9校が利活用されていました。

また、いずれも民間との連携により運営されており、町内の方々と関係機関等との協力体制が有効に構築され進められていました。

旧北瑛小では丘のまちびえいプロジェクトとして農林水産省の「農村漁村活性化プロジェクト支援交付金」を活用し約3年で、レストラン、料理をテーマにした研修施設が完成しました。又、これらは農・食・観光連携拠点施設に位置づけられており、地域活性化が図られています。美しい景観、美味しい料理が魅力となり、予約がなかなか取れない状況となっております。

いずれの校舎も地域の方々との関わりが鍵となっており、今後の当町の廃校利活用についてもこれらを参考とし取り組んで参ります。

産業建設
常任委員会

住宅整備等の施策について



東川町議員の方々と



東川町での質問の様子

産業建設常任委員会では、「適疎なまちづくり」を進めている北海道東川町において人口が緩やかな増加傾向であることに注目し、住宅の整備や町の様々な取り組みについて調査を行いました。

東川町では、民間アパートの空室情報の提供や解体支援金、計画的な住宅団地の造成など様々な事業が開かれており、長期的かつ戦略的な施策の成果が現れていました。

また、「写真の町」がコンセプトであることから、美しいまちづくりが進められており、それらに共感された方々の移住や起業家の進出などが次々に生れていました。

さらに、新築された東川小学校の魅力も大きく影響しており、子育て世代の転入が増加となっております。今後の天栄の村づくりの参考となる大変貴重な研修であり、さらに受け入れ側の柔軟性も大切な要素で、それらもまちの魅力の一つでありました。ホスピタリティの高さにも感銘を受け、また訪れてみたくなる町でした。

これらの視察を踏まえ、村政に反映できるよう今後も取り組んで参ります。

議会・議員の活動

▶ 岩瀬地方町村議会議員協議会総会

令和5年5月17日

令和5年度の事業計画等を審議

5月17日(水)に村生涯学習センターにて、天栄村と鏡石町の議員20名が参集し、両町村長、県議会議員3名を来賓に迎え、総会が行われました。

総会では、令和4年度事業報告や収支決算報告、令和5年度の事業計画案や予算案等を審議し、原案どおり承認・可決されました。

また、今回の総会では役員改選が行われ、新たに古川鏡石町議長が会長に就任され、服部天栄村議長は会長としての2年間の任期を満了しました。



議事を進行する服部会長

▶ 道の駅季の里天栄完成記念式典

令和5年5月27日

「道の駅季の里天栄」がリニューアルオープン

5月27日(土)に農林水産物直売施設（道の駅季の里天栄）の完成記念式典が道の駅駐車場で開催され、国会議員など多くの関係者が出席しました。

村議会議員も招待を受け出席し、服部議長が代表して祝辞を述べました。

式典当日は天候にも恵まれ、主催者や来賓によるテープカットの後、オープンを待ち望んでいた来場客が新しい道の駅で買い物を楽しんでいました。

この新しい道の駅は、これまでの施設の約2倍の売り場面積を有し、駐車場も十分なスペースを確保しており、村内外の人達が、休憩と食事、そして買い物ができる施設として、今まで以上に親しまれる道の駅となることが期待されます。



テープカットの様子

▶ 第43回関東天栄ふるさと会総会

令和5年7月9日

4年ぶりの開催に笑顔

新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催となっていた関東天栄ふるさと会（旧：関東地方天栄村人会）の総会が東京グリーンパレスにて開催されました。

4年ぶりとなる総会では、総勢約80名が参加し、事業計画や役員改選などについて議事が行われ、議会議員も来賓として出席しました。

総会後の懇親会では、天栄村民の歌である「伸びゆく天栄」を斉唱し、村の近況などについて様々な意見が交わされ、会員の方々も久々の再会を喜んでいました。



総会の様子



▶ 6月定例会表彰状伝達

令和5年6月8日

特別功労・自治功労者表彰を6名が受賞

去る6月5日(月)に開催された福島県町村議会議長会定期総会において、町村議会議員として20年以上在職し功労のあった「特別功労者」、町村議会議員として11年以上在職し功労のあった「自治功労者」に対し、表彰状が贈られました。

村議会では特別功労者、自治功労者にそれぞれ3名の議員が表彰され、6月定例会において服部議長より表彰状の伝達が行われました。



特別功労者(小山議員・揚妻議員・廣瀬議員)



自治功労者(服部議長・大浦議員・大須賀副議長)

特別功労者

揚妻 一男 議員

廣瀬 和吉 議員

小山 克彦 議員

自治功労者

服部 晃 議長

大須賀 溪仁 副議長

大浦 トキ子 議員



表紙の写真

7月7日(金)に天栄幼稚園で行われた七夕会での1コマです。

彦星と織姫の姿で登場した先生からのクイズや七夕の由来を紹介するブラックシアターなどが行われました。

また、年長組代表者6名による願い事紹介はとても微笑ましく、短冊に書かれた願い事が一つでも多く叶うことを祈るばかりです。



天栄村議会のホームページ <https://www.vill.tenei.fukushima.jp/site/gikai/> 天栄村ホームページトップ→天栄村議会

●議会広報常任委員会

委員長 揚妻 一男
副委員長 熊田 喜八
委員 大須賀 溪仁
委員 小山 克彦
委員 円谷 要

鳳坂トンネルの開通や、道の駅「季の里天栄」のリニューアルオープンで交流人口がますます増えると思われまます。賑やかで活気あふれる天栄村になるよう皆で頑張ってくださいませ。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、本村においても従来通りの各種行事が再開されるようになりました。そのなかで、村内の旅館を巡回しながら健康増進を目的とした「湯ったりミニデイサービス」事業も再開され、久しぶりにお友達などとレクリエーションや温泉入浴を楽しんでいるのではないのでしょうか。

